

平成23年度 学校研究

1 学校研究全体計画

1 研究主題

平成23・24年度 小松市学力向上研究推進校

義務教育9か年の学びの中で培う確かな学力

～小中連携で取り組む学力向上プロジェクト～

2 主題設定について

(1) これまでの研究の経緯と方向性

本校では平成20年度・21年度の県教委・市教委指定『活用力向上モデル事業』の推進校としての研究実践を積み、21年度にはその成果を発表したところである。22年度は研究主題を前年度に引き続き「考えを伝え合い、高め合う生徒の育成」とし、サブテーマとして、課題として残った部分を深めるために『言語活動の充実に重点をおいて』として研究実践にあたってきた。また、学びを支える「豊かな人間性」や「認め合える人間関係」を育むため、道徳や特別活動の充実はもちろんのこと、全ての教育活動を通して研究主題を常に意識しながら取り組もうとしてきた一年間であった。

しかしながら、なかなか目に見える形で学力向上の成果を実感することができないのが本校の現状である。基礎的・基本的知識・技能の確実な習得・定着の上こそ活用や応用が可能になる、そんな原点に再び立ち返ることになった。そんな折、県教委から過去三年間の全国学力調査の結果分析に基づいて策定した「いしかわ学びの指針12か条」が発表された。本校のこれまでの取り組みと照らし合わせて見ると、そこには本校の課題や改善の方策へのヒントがいくつもあるように思われ、これを抛り所に学校研究構想の見直しを図り、中学校でつけるべき確かな学力の定着に向けての方策を考えていくことにした。

(2) 生徒の現状と課題

22年度の全国学力調査・県基礎学力調査などの結果から読み取れる現状から、本校生徒の課題を見ると、

○複数の資料から必要な情報を取り出し、自分の考えをまとめ、適切に表現する力が不足している。

○漢字の読み書きや言語に関する知識・理解が不足している。

○証明問題の正答率が低く、無解答率も高い。根拠を述べて順序立てて説明できる力が弱い。

○文字式の意味の読み取り、文字式で表現する問題等の正答率が低い。

○実験結果については理解しているが、実験方法が理解できていない。

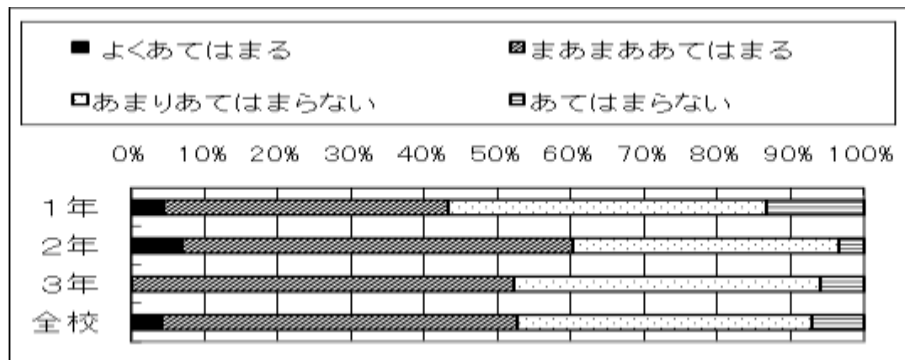
○既習の単語でも配列が教科書に出ていない表現であると、解答できない。応用力が弱い。

などのように、問題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力が充分身につけているとは言えず、また活用するための基礎的・基本的知識・技能の習得・定着にも課題は残る。

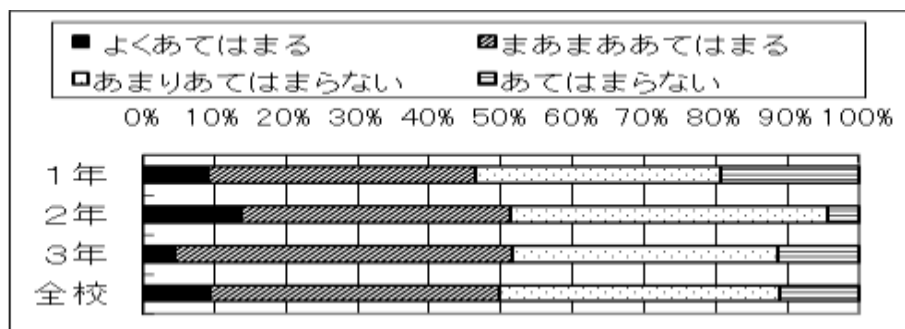
また、年2回(7月、12月)、全生徒・保護者・教職員にアンケートを実施し、学校評価に反映

しているが、そのアンケート結果からも課題は読み取れる。以下は昨年度12月に実施した生徒アンケート結果からのデータより一部抜粋したものである。

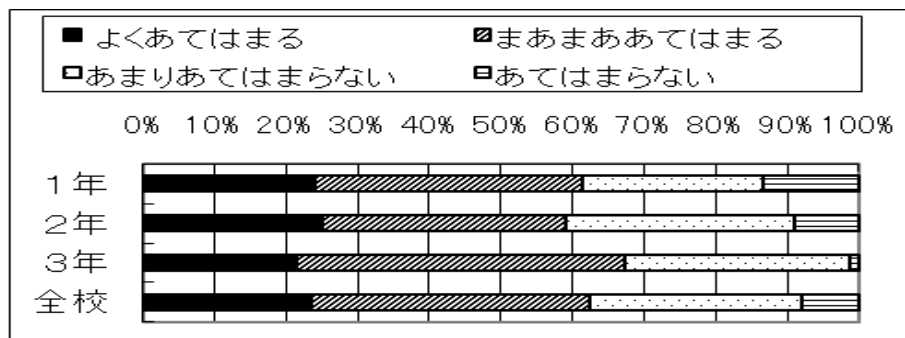
◎分かりやすく楽しい授業が多かった。



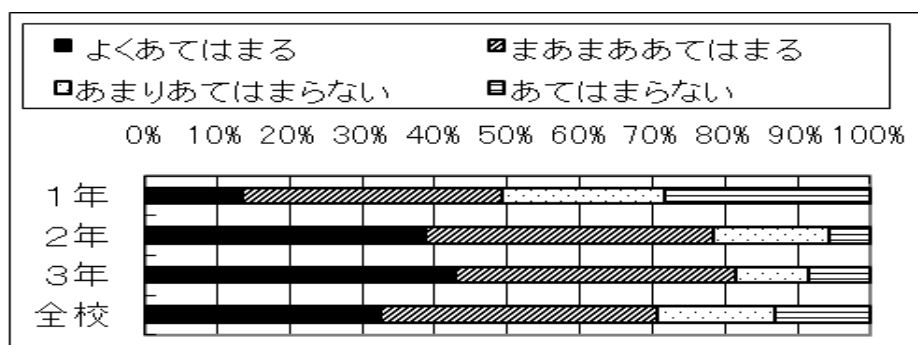
◎授業中やその他の場面で、自分の思いや考えをきちんと言葉にして表現できるようになってきた。



◎テレビのニュースや新聞などで、最近の社会の出来事をよく知るようになりしてきた。



◎家の人と将来のことや進路のことについて話し合うことがあった。



家庭学習についても、学習時間・必要性への意識・内容の充実等に向けてまだまだ取り組みを考えていかなければならないのが本校の現状である。

(3) 主題設定の理由

学校の教育活動を進めるに当たって、生徒に生きる力を育むことを目指し、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開していく中で、生徒たちに確かな学力を保障していくことは学校の責務である。

新学習指導要領から読み取れる『学力の重要な3つの要素』は、以下の3つであると捉える。

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1. 基礎的・基本的な知識・技能の習得2. 知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等3. 学習意欲 |
|--|

また、これらは生徒の発達段階を考慮して、言語活動を充実するとともに家庭との連携を図りながら、学習習慣や基本的な生活習慣の育成にも気を配る必要がある。

本校は校区に1小学校1中学校という地域である。しかも小学校と中学校の校舎が向かい合っ建てつという教育環境である。新学習指導要領の理念を生かして行く上でも、ぜひとも義務教育の9か年を同じ仲間たちと共に学ぶという学校区の特性や、校舎の立地条件を生かし、学びの連続性・指導の連続性を意識した、実効性のある小中連携を推進することで安宅地区の子どもたちの学力向上を図っていききたい。そのためには、幼児教育の重要性も踏まえて、地区に2つある保育園との連携も視野に入れながら、将来的には安宅の地域全体で子どもの育ちを見守り、豊かな人間性や社会性、そして確かな学力を身につけることを支援していく『安宅の教育のグランドデザイン』を描くところまでを願って本主題を設定した。

4 今年度の研究方針

「いしかわ学びの指針 12か条」を拠り所にし、本校の課題を踏まえて研究の柱を以下の3点に据えて取り組む。校区の安宅小学校との連携を推進し、共通理解・実践・深化を図りながら安宅地区の子どもたちの学力の向上を目指す。

(1) 活用力を高める授業づくり(教科部会)

- ・物事を多様な観点から考察する力を培うために、発達段階に応じて「活用力」の積み上げを意識し、言語活動を充実させる。そのために必要な基礎的・基本的事項の習得・定着を徹底させる。
- ・積極的な授業研究・公開授業を通して、互いの知恵や授業技術を共有しながら教師集団としての力量を高めていく。教師自身が学び合い学習や活用力を発揮できる校内研修の在り方を実践する。
- ・他校の実践参考、先進的な研究校視察、指導主事や研究者等の関わりや指導助言等を取り入れ、広い視野のもとで授業づくりを進める。

(2) 学びを支える基盤づくり(学年会・生徒会)

- ・活用力を高める授業作りを進める上で重要な要素となる、考える場面・話し合い活動・学び合い活動ができる学級づくり・学年づくりを目指す。
- ・学年会を母体として、学年内での実践と学年間同士の連携・共通理解を大切にし、最終的には学校全体が学力や学習を支える堅固な基盤となるようにしていく。
- ・生徒の主体性を育む学校行事の企画・運営、達成感や充実感、自己有用感が味わえる

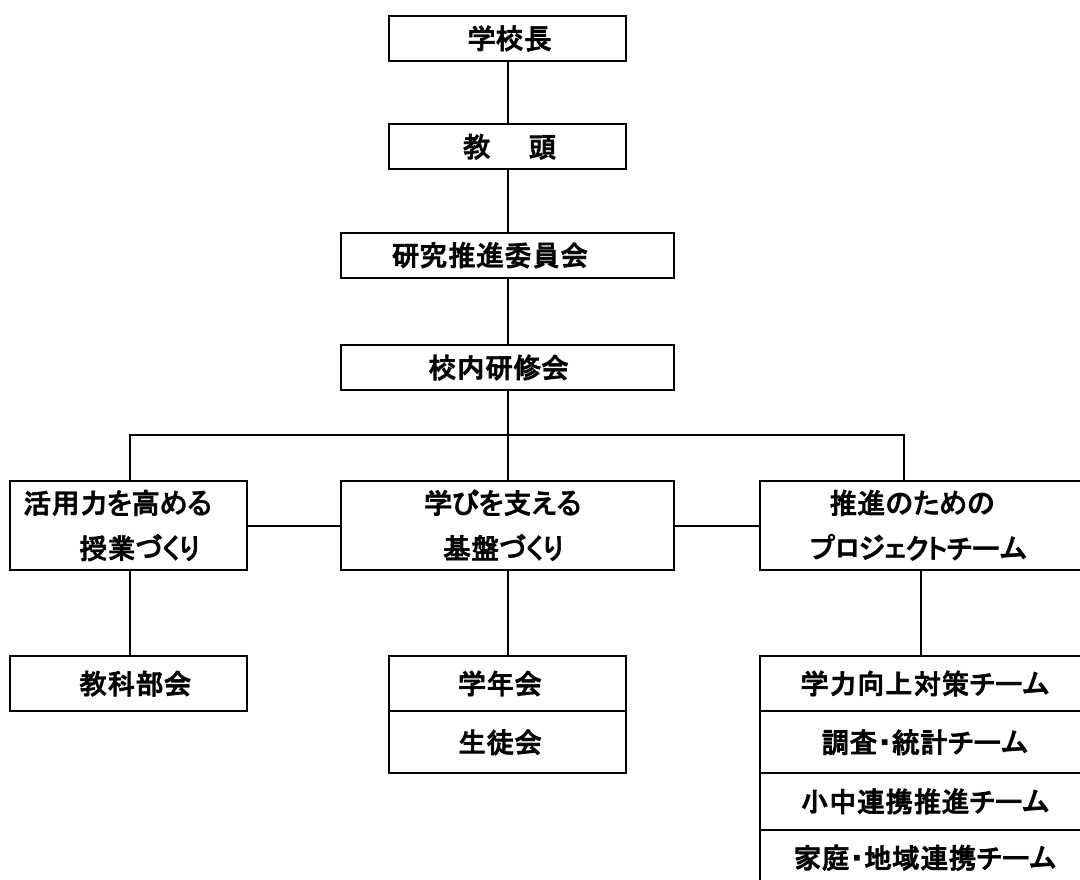
生徒会活動を推進する。

(3) 推進のためのプロジェクトチーム（目的別に4チーム）

・研究活動を推進していくために、より効果的で緻密な実践が可能になるように目的に応じて、以下の4つのプロジェクトチームを作って進めていく。

- ①学力向上対策チーム
- ②調査・統計チーム
- ③小中連携推進チーム
- ④家庭・地域連携チーム

5 研究組織



6 研究内容・研究方法

(1) 活用力を高める授業づくり

①学習内容を確実に定着させる授業づくりを意識する。

○学習のねらい、ゴールを明確にし、生徒が分かった・できたを実感できる授業を目指す。

○基礎的・基本的な事項の定着・習熟を図る場面の設定と、その達成度の確認と共につまづきのある生徒への手立てを講ずる。

○これまでの既習学習の内容と関連づけ、既習事項を活かす工夫や考え方を指導する。

②思考力・判断力・表現力等の育成をねらう授業づくりを意識する。

○根拠や筋道を明確にして、説明や論述させる教材や場面を工夫する。

○根拠の取り出し方や筋道の立て方の基本を指導し、繰り返し練習する。

○得た情報を多面的・多角的に検討させ、思考・判断させる学習課題や学習形態の工夫を通して多様な観点から考察する力の育成を図る。

(2) 学びを支える基盤づくり

- ①互いに認め合い、高め合うことができる人間関係づくりが形成される学級・学年づくりを目指す。
- ②全教科、教育活動を通じて、目的や相手、場面に応じて「書くこと」「話すこと」「聞くこと」の必要性・重要性を意識させ、主体的な学びの習得に向けての機会を創出していく。
- ③学習規律や学びのルールを大切にする教育環境をつくる。
- ④家庭学習の定着と内容の充実、基本的な生活習慣の確立を図る。
- ⑤生徒が達成感や充実感を味わうことのできる生徒会活動や学校行事の工夫を通して学校の活性化を図る。

(3) 推進のためのプロジェクトチーム

①学力向上対策チーム

- 学力調査の問題・結果分析（全国・県・市）・改善への対策
- 学力向上プランの策定・修正

②調査・統計チーム

- 学力調査のデータ活用・提示
- 各種アンケート作成・集計・データ化

③小中連携推進チーム

- 小中推進会議の設置・推進計画の立案
- 学びの連続性の確立
- 指導の連続性の確立
- 児童生徒の交流活動の活性化

④家庭・地域連携チーム

- 家庭教育の啓発と充実
- PTA活動の活性化
- 地域教材の開発・地域人材の有効な登用
- 積極的な学校公開・情報公開、学校評価の活用

3-2 研究計画

月	研究推進委員会	校内研修会	活用力を高める 授業づくり	学びを支える 基盤づくり
			教科部会	学年会・生徒会
4	<ul style="list-style-type: none"> ・全体計画の構想（4/15） ・全体計画、研修計画の確認（4/18） 	第1回（4/13） <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援生徒理解（安宅小 石橋先生招聘） 職員会議（4/20） <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の方針と研究計画について 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科年間指導計画 ・シラバス作成 ・各教科の指導の重点 ・授業参観（4/26）担任授業 	<ul style="list-style-type: none"> ・学年・学級経営案 ・学年懇談会（4/26） ・道徳・学活・総合の年間指導計画 ・生徒会活動年間計画 ・生徒総会（4/27）
5	<ul style="list-style-type: none"> ・教科研究の取り組み方について ・指導案形式検討 ・研究授業計画の立案 	第2回（5/20） <ul style="list-style-type: none"> ・教科の授業改善プラン作成 ・年間の研究授業予定 	<ul style="list-style-type: none"> ・各教科の研究計画 ・中間テスト問題工夫 ・テストの振り返りと補充 	<ul style="list-style-type: none"> ・中間テスト勉強計画（家庭学習強化期間） ・家庭学習の内容充実 ・遠足・金沢フィールドワーク・修学旅行 ・QU実施

6	<ul style="list-style-type: none"> ・授業研究会に向けての準備 参観の視点 授業評価カード 整理会の持ち方等を検討 	<p>第3回 (6/27)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業研究 (3教科) 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業研究会のための指導案検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・QU結果分析と生徒理解 ・ふれあい週間 ・大会壮行会
7	<ul style="list-style-type: none"> ・各種アンケートの内容検討 ・1学期のまとめ ・要請訪問 (市) 研究の進捗状況の報告と助言 		<ul style="list-style-type: none"> ・期末テスト問題工夫 ・授業アンケート実施 ・授業アンケート結果の分析と改善対策 ・教科の評価 (通知簿) 	<ul style="list-style-type: none"> ・期末テスト勉強計画 (家庭学習強化期間) ・海岸清掃ボランティア (7/1) ・生徒アンケート実施 ・1学期の振り返りと夏休みの計画 ・資源回収 (7/31)
8	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果の検討 ・2学期の研究計画の確認 	<p>第4回 (8/)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習会 <p>第5回 (8/)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部講習会選択参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・県基礎学力調査結果分析と改善策 ・全国学力調査対策 	<ul style="list-style-type: none"> ・休業中の補充教室 (基礎・発展) ・休業中の家庭学習 ・運動会への取り組み ・部会中間検討会 ・テスト (8/30)
9	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果の活用 ・10月の授業参観について ・計画訪問に向けての計画 		<ul style="list-style-type: none"> ・8月のテスト分析 	<ul style="list-style-type: none"> ・2学期の計画 ・アンケート結果の活用 ・運動会 (9/15) ・立ち合い演説会 ・新人戦壮行会
10	<ul style="list-style-type: none"> ・授業参観について ・計画訪問時の指導案検討 	<p>第6回 (10/6)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業参観日を活用して授業研究教科を設定する。(4教科) ・参観の視点提示し授業評価カードにて整理会の代替 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業参観に備えた授業づくり研究 ・中間テスト問題工夫 ・計画訪問時の授業計画、指導案検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校保健委員会 (10/6) ・後期学級組織 ・後期生徒会役員組織 ・中間テスト勉強計画 (家庭学習強化期間) ・合唱コンクール (10/25) ・文化祭への取り組み ・QU実施
11	<ul style="list-style-type: none"> ・計画訪問要項の作成 ・全体会打合せ 	<p>第7回 (11/16)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・丸内中発表会参加 <p>第8回 (11/24) *</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画訪問 研究授業 (3教科) 教科部会・全体会 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業づくり検討 ・指導案検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・文化祭 (11/2) ・QU結果分析と生徒理解 ・ふれあい週間 ・人権月間の取り組み

12	<ul style="list-style-type: none"> アンケート結果の検討と活用 研究紀要のまとめについての検討 	<p>第9回 (12/14)</p> <ul style="list-style-type: none"> 計画訪問反省 2学期のまとめ 研究紀要のまとめ方について 	<ul style="list-style-type: none"> 期末テスト問題工夫 授業アンケート実施 授業アンケート結果の分析と改善対策 教科の評価(通知簿) 	<ul style="list-style-type: none"> 期末テスト勉強計画(家庭学習強化期間) 生徒アンケート実施 2学期の振り返り 冬休みの計画 部会のまとめ 休業中の補充教室
1	<ul style="list-style-type: none"> 研究物の集約と最終報告の作成 市教委提出 		<ul style="list-style-type: none"> 教科の研究まとめ 1月のテスト分析 	<ul style="list-style-type: none"> テスト(1/10) アンケート結果の活用 3学期の計画
2	<ul style="list-style-type: none"> 授業研究会に向けての準備 今年度の総括と来年度の方針 	<p>第10回 (2/27)</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業研究(3教科) 	<ul style="list-style-type: none"> 指導案検討 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒総会 2年立志式(2/5)
3	<ul style="list-style-type: none"> 次年度の方針と計画 		<ul style="list-style-type: none"> 期末テスト問題工夫 教科の評価(通知簿) 次年度シラバス検討 	<ul style="list-style-type: none"> 期末テスト 学年のまとめ 卒業式